

島根県と和歌山県で発見された稀少なハナウスラヒトデ（棘皮動物）

久保田 信¹・土生紳吾²

¹ 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459
京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
² 〒 271-0203 群馬県前橋市粕川町月田 310-3

Occurrence of a rare starfish *Anseropoda petaloides* (Echinodermata) from Shimane and Wakayama Prefectures, Japan

Shin Kubota^{1*} and Shingo Habu²

¹ Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, 459
Shirahama Town, Nishimuro, Wakayama Prefecture, 649-2211 Japan

² 310-3 Tsukida, Kasukawa Town, Maebashi City, Gunma Prefecture, 271-0203 Japan

Abstract. A rare starfish *Anseropoda petaloides* (Goto, 1914), of which body length (R) is 33 mm, was newly recorded from off Hinomisaki-Point (100-130 m deep), Wakayama Prefecture, Japan in 2017, with some remarks on the former records, particularly on one unrecorded specimen collected from Oki Islands (54 m deep), Shimane Prefecture in 1989.

Key words: depth, distribution, new localities, starfish

（要約）

和歌山県日の岬沖の水深 100-130m から稀少種ハナウスラヒトデの 1 個体の生体が 2017 年に採集された。これまでの記録を、特に水深 54 m から 1989 年に採集の島根県隠岐諸島産の未報告記録等と共に、今回、まとめて報告する。

はじめに

棘皮動物門のヒトデ類において、体の厚みが極めて薄い特徴をもったハナウスラヒトデ（＝ハナヒトデ）*Anseropoda petaloides* (Goto, 1914) は、我が国ではほとんど知られていない (Goto, 1914; 大島, 1935; 大島・林, 1965; 小黒, 1990; 田中ほか, 1996)。今回、本邦からの新しい産地として、本種が、ごく最近、和歌山県

から発見されたので、稀少例として報告する。加えて、隠岐諸島から過去に採集された 1 個体も新記録として報告する。

材料と方法

和歌山県産の個体は、2017 年 9 月 27 日、日の岬沖の水深 100-130m の漁獲物から、土生紳吾が 1 個体の生体を発見し、その写真撮影も採

*連絡先 (Corresponding author): kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp

集直後に行った。島根県産の個体は、1989年8月29日、隠岐諸島の島後沖の水深54 m (36°09.53N; 133°1.3.36E) から島根大学隠岐臨海実験所の船舶からのドレッジにより採集し、発見者の久保田信が生体を採集直後に撮影した。

結果と考察

和歌山県産の個体は体全体がたいへん肉薄で、幅長 (R) は33 mmであった。背側全体の地色は薄こげ茶色を呈し、黒色の斑点が中央分に多数点在していた。また、幅広い5腕の間軸部には、湾入が見られることもあった (図1, 2)。

本個体は採集後に直ぐにアルコールで固定し、乾燥標本として土生紳吾が保管している。

島根県隠岐諸島産の1個体も上記とほぼ同様の形態であったが、色彩は桃色がかった薄い茶色であり、規則的に配列した茶褐色の斑点が多数 (各腕に10個程) 見られた点 (図3, 4) で両者は異なっていた。体がとても薄くて柔らかい本標本を富山大学の黒千足先生に送付・謹呈し、学名と和名をご教示して頂いた。

本種が新種 *Palmipes petaloides* として記載された神奈川県三崎産の複数の個体は、幅長 (R) が16, 22, 27, 32mm (Goto, 1914) で、約30 mm内外 (大島・林, 1973) とされているの

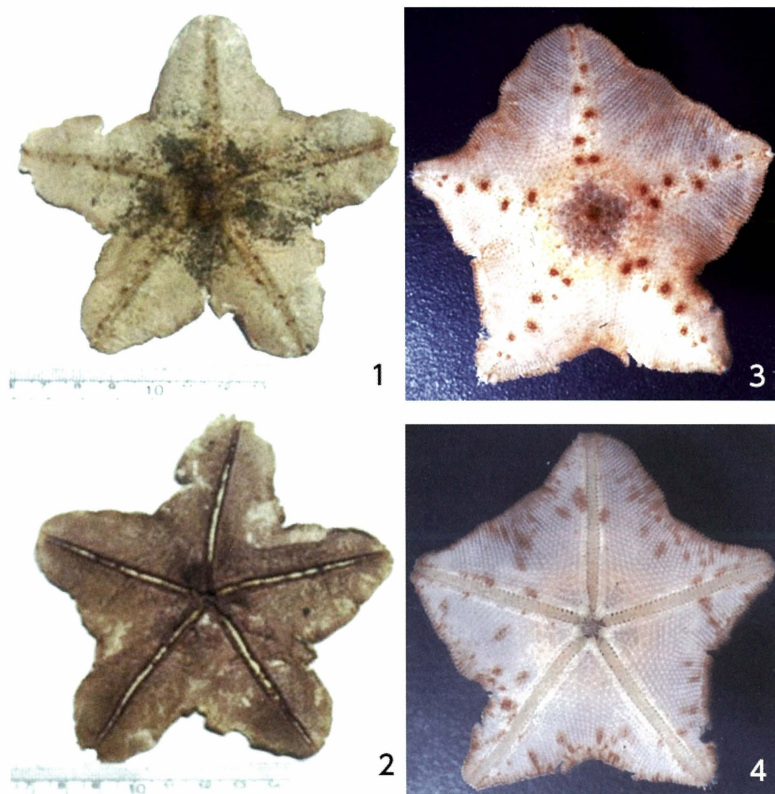


図1, 2. 2017年9月に和歌山県日の岬沖で採集されたハナウスラヒトデ (1: 背面図; 2: 腹面図)。
Figs 1, 2. *Anseropoda petaloides* (Goto, 1914) that was collected from off Hinomisaki-Point, Wakayama Prefecture, Japan in September, 2017 (1: dorsal view; 2: ventral view).

図3, 4. 1989年8月に島根県隠岐諸島で採集されたハナウスラヒトデ (1: 背面図; 2: 腹面図)。
Figs 3, 4. *Anseropoda petaloides* (Goto, 1914) that was collected from Oki Islands, Shimane Prefecture, Japan in August, 1989 (3: dorsal view; 4: ventral view).

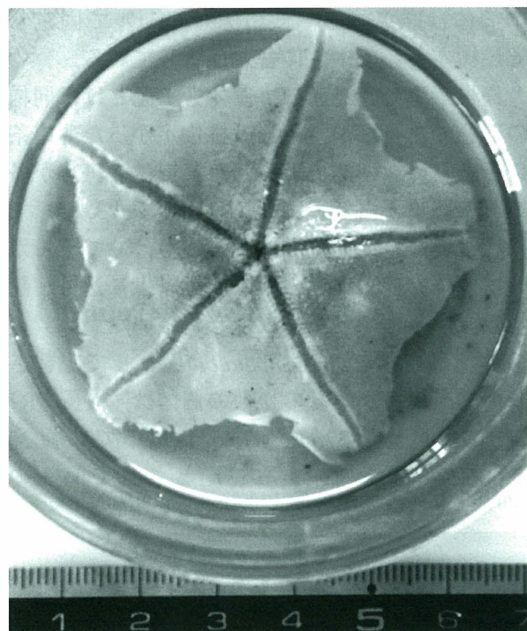


図 5. 1996 年 5 月に島根県で採集されたハナウスラヒトデ（固定標本の腹面図）。

Fig. 5. *Anseropoda petaloides* (Goto, 1914) that was collected from Shimane Prefecture, Japan in May, 1996 (ventral view of a preserved specimen)

で、上記の今回新記録の 2 個体のサイズと一致している。これまで本種の記録はほとんどないが、幅長が 20 mm の 1 個体が高知県の土佐湾の水深 160 m から報告されている（小黒，1990）。また、島根県西部の石見地域沖で 2 個体（曳網 100 m 当たり 0.13 個体）が、1996 年 5 月に、水深 110-120 m から採集され（田中ほか，1996）、内 1 個体の固定標本（図 5）での幅長は写真から今回計測すると 31.5 mm であった。これら既知標本と今回の新記録個体のサイズとはほぼ一致し、また本個体が採集された水深ともかなり一致した。ただし、隠岐諸島での

水深は少し浅かった。

謝 辞

1989 年当時に本種の採集に貢献して下さいった松野煒島根大学教授と隠岐臨海実験所職員、並びにその同定をして下さった小黒千足富山大学教授に深謝致します。本種に関する貴重な情報、特に写真を送付して下さいった島根県水産技術センターの沖野晃氏に深謝致します。

引用文献

- Goto, S. 1914. A descriptive monograph of Japanese asteroidea. I. Archasteridae, Benthoplectinidae, Porcellanasteridae, Astropectinidae, Luidiidae, Pentagonasteridae, Oreasteridae, Gymnasteridae, Asterinidae. Journal of the College of Science, Imperial University of Tokyo, 29, Article 1, 808 pp. + 19 pls.
- 大島 廣. 1935. ハナヒトデ, p.235, In “岩波動物学辞典”, 岩波書店, 東京.
- 大島 廣・林 良二. 1965. ハナヒトデ, p.57, In “新日本動物図鑑（下）” 初版, 北隆館, 東京.
- 小黒千足. 1990. ハナウスラヒトデ, p.55, In “日本陸棚周辺の棘皮動物 [上]”, 日本水産資源保護協会, 東京.
- 田中伸和・沖野 晃・藤川裕司. 1996. 石見中部地区人工礁漁場造成事業調査+調査資料（付表）, pp. 84-110 + pp. 305-317.

（2017 年 11 月 13 日受領, 2017 年 11 月 25 日受理）